

# 2016

派遣留学報告書

場所：アメリカ ノースウェストミズーリ州立大学

期間：8月24日～12月17日

新潟国際情報大学

国際文化学科 2年

21015005

飯原 元

## 概要・内容

1. 留学・研修先及び期間
2. 留学・研修先概要（派遣先大学、学科、コース概要）
3. 留学・研修の目的
4. 留学・研修のスケジュールと履修コース・研修の詳細
5. 当初の目的及び目標への到達度に対する自己評価、派遣によって得られた事
6. 反省・課題

謝辞

## 付録

## 1 場所、期間

場所：ノースウェストミズーリ州立大学

期間：8月24日（水）～12月17日（土）

（日本到着日時12月18日 日曜日）

## 2 留学・研修先概要（派遣先大学、学科、コース概要）

ノースウェストミズーリ州立大学は、ミズーリ州メリーヴィル市にあります。1905年に創立されこの大学は評議員によって運営されています。世界38カ国、全米42州から約6,200名が在籍しており専任教員の人数は235名が在任しています。1994年に調査された時には大学の治安は全米の中でも第4番目に安全な大学とされています。

この大学の学科数は3つの大学部と大学院部の中に大きく分けて7つあり農学、科学、人文学、ビジネス、政府、コンピューター科学、教育学があります。この7つの中でまた枝分かれし、多くの分野の科目を学ぶことができます。

## 3 留学・研修目的

この留学・研修の目的として大きく分けて2つのことが挙げられます。まず一つ目は、言語の上達です。やはりネイティブや様々な国の人の英語を約4ヶ月間の間聞くことによってリスニング力が、伸び聞き取ることができれば自然と自分自身から活発に話しかけられるようになります。二つ目は、様々な国の文化や習慣に触れることができ自身の視野を広げる助けになると思います。国際政治、歴史を学ぶ上に置いても価値観の違いを知ることは大切だと思います。

## 4 留学・研修内容のスケジュールと履修コース・研修の詳細

1週間の中で4日間、1日5時間授業がありました。科目内容は長文読解、スピーチ、文法アメリカの歴史、文化などについて学びました。朝9時から始まり途中昼休みを挟み、3時まで行っていました。そしNUISが履修していたコースはESLになります。

## 5 当初に目的及び目標への到達度に対する自己評価、派遣によって得られたこと

まず当初決めた目標はリスニング力の向上です。そしてその到達度として留学を終えてみて点数をつけるとするならば50点ぐらいだと思います。理由として、ルームメイトやESLの人達とは積極的に話すことはできたが、ネイティブの人とは特定の人に偏ってしまいました。そして得られたことは、挑戦することの難しさとそれがいかに重要であるかということです。

## 6 反省・課題

反省・課題は自分自身の時間の使い方をよく考えることだと感じています。留学中最初にしななければならない事をおろそかにしてしまい時間的に厳しい場面を作ってしまった。遊びを優先する時も大事ですが、それと同じように学業にも力を入れるためには限られた時間を効率よく管理する事がこれからの課題です。

## 謝辞

今回の留学は自分一人だけでは決して行く事できませんでした。こういった留学制度を設けていただいたり、奨学金を授与してくれた大学や手続きをしてくださった事務員、サポートしてくれた教員、費用を出してくれ両親と一緒に留学に行った友人に対して言葉では表せないほどの感謝をしています。

## 付録

留学における思い出を2つ紹介しようと思います。

1つ目は、初日ついて間もなく自身の部屋へと案内された時他のNUISはまだルームメイトが到着していなかったと思います。しかし、着くとすでにルームメイトが到着していてドキドキの夜を過ごしました。

2つ目は、ホストファミリーの家で銃を撃った事です。日本では簡単には打つ事はできないし、もちろん初めての経験で持つ事ですら恐怖を感じるものでした。使い方を間違えればもちろん命を奪う事になる物ですが、撃った事はとてもいい経験になりました。